

2026 年度  
能力強化研修

# 「都市・地域開発・まちづくり」

2026 年 7 月 29 日（水）～7 月 31 日（金）

## 募集要項



独立行政法人 国際協力機構  
人事部開発協力人材室

※本研修は対面で実施予定です。

## はじめに

世界の人口は 2050 年に 97 億人に達し、その 68%が都市に集中すると見込まれています。都市化のトレンドは今後も続き、1950 年に 30%に過ぎなかった都市人口は 2050 年には 68%に達すると予測されています。こうした急激な都市化の中、持続可能な開発目標（SDGs）のゴール 11 にて「包括的で安全かつ強靱で持続可能な都市と人間居住の構築」が挙げられ、2016 年には第 3 回国連人間居住会議（ハビタット 3）が開催されるなど、国際社会での都市開発に関する関心が高まっています。

独立行政法人国際協力機構（以下、JICA）は、開発途上国の都市・地域開発・まちづくり分野において、中央省庁や地方自治体の計画策定や事業実施のための能力強化や制度改善などの協力を長年にわたり実施してきました。近年では、都市マスタープラン策定や国土・地域開発計画のみならず、スマートシティや TOD（公共交通指向型開発）などの推進にも取り組んでおり、行政、民間事業者、コミュニティなどの多様な関係者が連携し、都市課題の解決に取り組む活動を促進しています。一方で、国際協力の実施に不可欠な国際協力人材、とりわけ JICA が都市地域開発分野のグローバル・アジェンダ（課題別事業戦略）<sup>1</sup>のもとで策定した “「まちづくり」クラスター事業戦略”<sup>2</sup>の推進に向けて、途上国の現場で、グリーン、レジリエント、インクルーシブな都市の実現を図るための国際協力人材が求められています。

上記背景を踏まえ、JICA は都市・地域開発・まちづくり分野で将来活躍する国際協力人材の育成を推進すべく、3 日間の能力強化研修「都市・地域開発・まちづくり」を実施することといたしました。開発途上国における都市・地域開発・まちづくり分野の国際協力に関心がある方々を対象に、JICA の都市・地域開発・まちづくりの取り組みや途上国での都市づくりに対する理解を深める機会を提供する予定です。また、本研修が当該分野における国際協力人材のネットワーク構築につながることも期待しています。

皆様からの積極的なご応募をお待ちしております。

### 1. 研修コース名、研修期間、募集人数

(1) 研修コース名：2026 年度能力強化研修「都市・地域開発・まちづくり」コース

<sup>1</sup> 国際協力機構 グローバル・アジェンダリーフレット

<https://www.jica.go.jp/activities/issues/urban/ku57pq00002cu424-att/urban.pdf>

グローバル・アジェンダ本文

[https://www.jica.go.jp/activities/issues/urban/ku57pq00002cu424-att/urban\\_text.pdf](https://www.jica.go.jp/activities/issues/urban/ku57pq00002cu424-att/urban_text.pdf)

<sup>2</sup> 「まちづくり」クラスター事業戦略

[cities for people](https://www.jica.go.jp/activities/issues/urban/ku57pq00002cu424-att/urban_text.pdf)

- (2) 研修期間：2026年7月29日（水）～7月31日（金）
- (3) 募集人数：20名程度（なお、募集人数に加えて、JICA 内部関係者の数名が参加予定）

2. **応募要件**：本研修の応募者は、下記の全ての要件を満たす方とします。

- (1) 地方自治体職員、民間企業職員、官公庁職員、団体職員（NGO 等）、JICA 海外協力隊帰国隊員、開発コンサルタント等を中心に、都市計画、都市開発、地域総合開発、都市行政、都市開発管理、まちづくり、スマートシティ、交通まちづくり分野（以下、「当該分野」という。）に携わっており、当該分野での国際協力活動に関心があること。
- (2) 当該分野において、大卒以上の専門性を有するとともに国内外で2年程度の実務経験を有する若手・中堅の方であること。もしくは、当該分野における3年以上の実務経験を有していること。また、実務経験が10年以下であることが望ましい。
- (3) 研修の全日程に対面で参加可能であること。
- (4) JICA の専門家・調査団員、コンサルタント等として、その形式を問わず、JICA 事業に携わる意志があること

3. **研修会場**

本研修は対面で実施します。

（会場）JICA 市ヶ谷本部

（最寄り駅：JR 中央線・総武線「市ヶ谷」、都営地下鉄新宿線「市ヶ谷」、東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」）

（住所）東京都新宿区市谷本村町 10-5

4. **研修概要**

(1) 目的

本研修は、受講者が都市・地域開発・まちづくり分野における JICA の協力量針や実例、案件実施における心構え等を理解し、将来 JICA における同分野の国際協力人材として活躍する上で必要となる知見を習得することを目的とします。

(2) 研修の具体的目標

本研修は、参加者が以下の3点を達成することを目標とします。

- ① 都市・地域開発・まちづくり分野における JICA の協力量針、取組事例、最新トレンドを理解する。
- ② 途上国における都市・地域開発・まちづくり事業の実践にあたって必要とされる能力を強化する。
- ③ 技術協力の実践にあたっての心構えを理解する。

なお、都市計画や都市開発の基本的な知識・技術については、研修参加者それぞれが習得しているものと考え、本研修では基本的には取り扱わないこととします。

(3) 研修プログラム

研修日程は 2026 年 7 月 29 日（水）～7 月 31 日（金）の 3 日間です。1 日目は、JICA の概要や都市・地域開発グループの取り組み、事業スキーム、国際的な潮流および具体的な事例紹介を通じて、都市・地域開発・まちづくり分野における国際協力事業の基礎的な知識と心構えの習得を目的とします。また、国際機関からの講義では、都市開発分野における JICA との連携の在り方について理解を深めることを目的とします。その他、スマートシティや公共交通志向型開発（以下、TOD）などの JICA の新たな取り組みについて紹介する予定です。2 日目から 3 日目の前半にかけては、途上国における都市・地域開発およびまちづくり分野の協力に関する基本的な考え方や実施上の留意点について、講義および演習を通じて学び、実務を見据えた理解の深化を図ります。3 日目の後半には、国際協力の現場で活躍してきた専門家等による経験共有を行うとともに、JICA の職性の紹介を通じて、JICA の国際協力においてどのような人材が活躍しているのかについて理解を深めます。

講義日	時間	内容	講義・演習名
7/29 (水)	午前	開講挨拶、プログラム説明、自己紹介	
		講義	JICA 都市・地域開発グループの概要・取り組み（JICA の概要、都市・地域開発分野のグローバル・アジェンダ、JICA の事業スキーム、事例紹介、MP2.0、国際協力人材の活躍の場と参画方法）
	午後	講義	国際機関等からの講義
		講義	都市開発マネジメントの取り組み（スマートシティ・TOD 等）
7/30 (木)	午前	講義 +演習	途上国における都市・地域開発、まちづくり分野における協力についての基本的考え方、留意点
	午後	講義 +演習	途上国における都市・地域開発、まちづくり分野における協力についての基本的考え方、留意点
7/31 (金)	午前	講義 +演習	途上国における都市・地域開発、まちづくり分野における協力についての基本的考え方、留意点
	午後	講義	専門家等からの経験共有（国際協力に関わった経験を持つ方等）
		講義 +意見交換	都市・地域開発、まちづくり分野で活躍する JICA の職性紹介

※本プログラムは、暫定版のため変更の可能性があります。

※理解を深めていただくため、任意参加ではありますが、事前にオンライン形式で都市計画や都市開発の基礎的な知識をインプットする事前講義又は事前課題（も

しくは両方)を予定しています。

※初日の夕方にネットワーキングのための懇親会(自由参加)を予定しています。

## 5. 参考資料

JICAの都市・地域開発事業に関する概要は下記のサイトをご参照ください。

URL: <https://www.jica.go.jp/activities/issues/urban/index.html>

## 6. 応募方法

以下の(2)に記載されている提出書類を揃え、締切日までにJICAが運営している国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」(以下、「PARTNER」という。)から応募してください。応募書類の受付後、応募時に「PARTNER」で指定した本人連絡用Eメールアドレスに対し、受領通知メールと共に応募案件番号(受付番号)を通知します。応募後、通知が届かない場合は、「人材登録に関するお問い合わせ先」までご連絡ください。

### (1) 「PARTNER」への登録

応募はすべて「PARTNER」経由で行います。応募にあたっては「PARTNER」に人材登録がなされていることが必須ですので、登録されていない方はまず「PARTNER」での人材登録を行ってください。

#### 「PARTNER」(人材登録)のURL

<https://partner.jica.go.jp/Account/HRAboutRegist>

#### 【PARTNER登録の注意事項】

応募時にはPARTNERマイページの「登録内容の確認/更新」にて、所属先などの情報を最新に更新してください。

また、更新の際には、「プロフィール公開」欄は「希望する」を選択し、「プロフィール公開対象」には必ず「JICA」を選択してください。

### (2) 応募書類

すべて所定の様式をご使用ください。所定の様式は、JICAホームページ(<http://www.jica.go.jp/recruit/kyokakenshu/top.html>)からダウンロードしてください。①の履歴書についてのみ、PARTNERから書式をダウンロードして作成してください。

#### ① 履歴書(研修用履歴書)

応募に必要な「研修用履歴書」を「PARTNER」上で作成して提出してください(履歴書への写真添付は不要です)。一般履歴書など他の様式の履歴書は受け付けません。履歴書は、「PARTNER」ログイン後、マイページのメニューから作成できます。ファイル名は「氏名\_1履歴書」として、PDF化して提出してください。

## ② 自己申告書

必ず所定の様式を使用して提出してください。なお、合理的な配慮が必要な方は自己申告書の該当項目（第6項目）に必ず記載をお願いいたします。ファイル名は「氏名\_2 自己申告書」として、PDF化して提出してください。

### (3) 応募

応募期間内に「PARTNER」の応募画面から応募してください（予め応募書類をご準備ください）。

- ① 以下の URL から「PARTNER」にアクセスし、画面右上の“ログイン”をクリックして「PARTNER」にログインします。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

- ② 「研修セミナー情報」画面から該当のセミナー情報を検索し、「WEB から応募する」をクリックしてください。
- ③ 上記（2）の応募書類を添付して PDF化して提出してください。

【PARTNER 人材登録に関する問い合わせ先】

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局

こちらのお問い合わせフォームより

<https://partner.jica.go.jp/Inquiry/Input>

## 7. 応募締め切り

**2026年6月3日（水）**

## 8. 選考結果の発表

応募書類を審査の上、**2026年6月29日（月）**を目途に、下記の「PARTNER」のマイページ上で合格者の応募案件番号（受付番号）を発表します。「PARTNER」にログインし、マイページの「PARTNER からのお知らせ」をご確認ください。**書面による通知、JICA ホームページ上では発表しません。**

ご自身の応募案件番号（受付番号）は受領通知メール、又はマイページ「メールボックス」の「受信BOX」で「【PARTNER】研修・セミナーへの応募送信完了のお知らせ」を参照ください。

なお、選考結果に関する個別のお問い合わせには一切お答え出来ませんので、あらかじめご了承ください。

「PARTNER」の URL <http://partner.jica.go.jp/>

## 9. 修了証の発給

全日程の研修を修了された受講者へ、研修修了証書をお渡しします。

## 10. 参加費用

無料

## 11. 留意事項

- (1) 情報保障等合理的配慮が必要な方につきましては、お気軽にご相談ください。
- (2) 研修期間中の事故等については、JICAは一切責任を負いません。予めご了承ください。
- (3) 研修実施に影響を及ぼすため、合格後の辞退は出来るだけご遠慮ください。
- (4) 円滑な研修運営に支障を来す恐れがあり、受講者本人や他の受講者の不利益になるとJICAが判断した場合は、その後の研修参加をお断りする場合があります。
- (5) 研修修了一定期間の後、研修後の国際協力事業へのかかわり等に関するフォローアップ調査をアンケート形式で実施しますので、回答にご協力願います。
- (6) 受講のために必要な経費は自己負担となります。宿泊場所の手配、斡旋等はありません。
- (7) 本研修では、Web上でJICA指定の共有フォルダにアクセスしていただき、当日資料をダウンロードしていただくため、コンピューター端末（ノートパソコンを推奨）をご持参いただければ幸いです。
- (8) 応募書類に虚偽の記載が判明した場合、選考合格を取り消すとともに、修了証の発行は致しません。

以上

### 様式1 自己申告書

※ 履歴書（研修用履歴書）は、PARTNER から書式をダウンロードして作成してください。

—ご提出頂く応募書類の取り扱いについて—

提出書類は、選考の結果にかかわらず返却しませんので、あらかじめご了承ください。

**【個人情報の利用目的】**

当機構が収集した応募者の個人情報は、以下の目的で利用させていただきます。当機構は、ご本人の同意を得ないで、この利用目的の達成に必要な範囲を超えて応募者の個人情報を利用いたしません。

1. 当機構が能力強化研修の受講者の選考を行うため
2. 当機構の研修実施にかかわる各種情報(セミナー・イベントやホームページの案内等)や、人材募集情報の提供や連絡等を行うため
3. 応募者についての統計、データ分析を行うため
4. 研修の修了後、研修修了者へ能力強化研修の成果の活用状況について照会し、この結果を統計データとしてまとめ、将来的な研修カリキュラム改善に活かすため

**【個人情報の取扱いについて】**

当機構は収集した個人情報を当機構の責任のもとで適切に管理し、研修の受講に至らなかった場合は、当機構の責任のもとで適切に廃棄致します。この場合、書類の返却は致しておりませんのでご了承ください。

**【募集・選考に関する問い合わせ先】**

独立行政法人 国際協力機構 人事部開発協力人材室（研修管理室）  
〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町 10-5 JICA 市ヶ谷ビル  
E-mail: [hrgtc@jica.go.jp](mailto:hrgtc@jica.go.jp)

**【応募時のシステムに関する問い合わせ先】**

独立行政法人国際協力機構 PARTNER 事務局  
こちらのお問い合わせフォームより <https://partner.jica.go.jp/>